

創造のためのアーカイヴ

文化芸術資源の
活用による新たな表現

文化芸術が長年培ってきた様々な表現を、将来的に活用するには、次世代に向けた収集・保存・公開（＝アーカイヴ）の新たな取組が必要となります。本分科会では、そのような取組を「創造のためのアーカイヴ」ととらえ、国内外で活躍するアーティストや研究者等による基調講演、パネルディスカッション、4Kデジタル復元版『雨月物語』の一部上映を通じ、アーカイヴの手法や活用に関する議論を深め、文化芸術活動のさらなる進展を目指します。



岸野雄一

スタディスト

Yuichi KISHINO

Studist

1963年、東京都生まれ。東京藝術大学大学院映像研究科、美学校等で教鞭をとる。「ヒゲの未亡人」「ワッツワーズ」などの音楽ユニットをはじめとした多岐に渡る活動を包括する名称としてスタディスト(勉強家)を名乗る。平成27年度第19回文化庁メディア芸術祭エンターテインメント部門大賞受賞。



宮川一郎

クリエイティブ・ディレクター

Ichiro MIYAGAWA

Creative Director

1947年京都市生まれ。父は日本映画界を代表するカメラマン故宮川一夫氏。父親の影響もあり時間芸術、視覚言語の表現手法と伝達に興味を持ち独学で1970年代からエディトリアルデザイン、単行本装丁、グラフィックデザイン、デジタル、WEB、音楽関連と多岐にわたりクリエイティブ・ディレクターとして活動。現在、宮川一夫の残した膨大なカット尻、書き込み台本等を広く公開できるアーカイヴにする為に活動中。



中谷日出

NHK解説委員

Hide NAKAYA

Senior Commentator,
Japan Broadcasting
Corporation

東京芸術大学大学院美術研究科修了。広告プランニング、映像アートディレクターとして活動後、キャリア採用でNHK入局。1999年6月NHK解説委員(芸術文化、デジタル関連)。デジスタ第1回目からナビゲーターを務める。メディアリテラシーに取り組む一方、経産省「マルチメディアグランプリ審査委員」、Gマーク選定委員などでも活躍。



田坂博子

東京都写真美術館学芸員

Hiroko TASAKA

Curator,
Tokyo Photographic
Art Museum

恵比寿映像祭キュレーター。美術館勤務を経て、(株)プロセスアートにて霧の彫刻家・中谷芙二子の作品制作のマネジメントに携わる。同時に芸術と科学、1960~70年代のパフォーマンス、ビデオアートを再検証する企画制作に従事。第2回恵比寿映像祭プログラムコーディネーターを経て、現職。

お申込みについて

参加費用 無料 **受付方法** 下記1~4のいずれかの方法でお申し込み下さい。

- 1) WEB 京都文化博物館ホームページより
- 2) FAX 本紙下部の申込み票にご記入いただき、送信してください
- 3) TEL 参加者の1.お名前、2.お住まい、3.ご連絡先(電話番号、FAX番号、メールアドレスのいずれか)を下記までご連絡ください
- 4) 持参受付 このチラシ下部の参加申込み表にご記入いただき京都文化博物館本館1階受付までご持参ください

お申込み先 京都府府民総合案内・相談センター(TEL・FAX) / 京都文化博物館(WEB・持参受付)

TEL 075-411-5000 FAX 075-411-5001 WEB www.bunpaku.or.jp

参加申込票

FAXでお申込みの場合はご記入のうえ本紙を075-411-5001まで送信ください。

※参加者全員分の記入をお願いいたします。

お名前

お住まい 〒

連絡先 電話 FAX メール



※お申込みいただいた皆様の個人情報は「創造のためのアーカイヴ」ご登録に関わる業務のみの利用とさせていただきます。

THE MUSEUM OF KYOTO 京都文化博物館 bunpaku.or.jp
〒604-8183 京都市中京区三條高倉
Tel.(075)222-0888 Fax.(075)222-0889